

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課
担当課長名：松谷春敏

事業名	ふくおかちくしのせん 福岡筑紫野線		事業区分	街路事業	事業主体	福岡市
起終点	ふくおかしちゅうおうくきよかわ 自：福岡市中央区清川1丁目 ~ 至：福岡市中央区清川3丁目		延長	約0.9km		
事業概要	<p>本路線は、福岡都市圏のY字型交通体系の主軸となる主要幹線道路で、都心部天神地区と本市南部地域及び春日市、筑紫野市等の都市圏周辺地域を結節し、福岡都市圏の一体的な発展に寄与するものである。本事業では現道拡幅により、車道6車化及び無電柱化を伴う歩道の広幅員化とともに、バスレーンをカラー舗装化し、1日に上下1000本を超えるバス交通利便性の向上を図る。これらにより、本市都心部と県南部の円滑な交通の確保により、通勤通学等の利便性の向上、かつ、無電柱化による都市災害の防止を図るもの。</p>					
H9年度事業化	S21年度都市計画決定 (S50年度変更)	H9年度用地着手	H14年度工事着手			
全体事業費	147億円	事業進捗率	95%	供用済延長	約0.1km	
計画交通量	35,000台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.2 (残事業) 29.1	総費用 (残事業)/(事業全体) 13/171億円 (事業費：8.0/166億円 維持管理費：5.0/5.0億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 379/379億円 (走行時間短縮便益：365/365億円 走行費用減少便益：12/12億円 交通事故減少便益：2.1/2.1億円)	基準年	平成18年	
感度分析の結果	未実施					
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路ネットワークの構築（渋滞が著しい西南部地域と都心部との連携強化） ・渋滞ポイントの解消（第3次渋滞対策プログラム、都市圏交通円滑化総合計画に位置づけあり） ・災害への備え（地震等災害時における人命救助、復旧活動の為に緊急輸送道路に位置づけあり）など 					
関係する地方公共団体等の意見	特になし					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> ・本路線での自動車交通量が年約700台以上の増加傾向にあり、渋滞・混雑が深刻化している。 ・福岡放送新社屋ビルを始めオフィスビルや高層住宅等の立地が更に進み、早期の事業完成が望まれている。 					
事業の進捗状況、残事業の内容等	【平成18年度末進捗状況】 事業全体：約95%、工事約54%、用地補償：約99%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	事業未取得用地は残り1件のみであり早期の用地取得に努める。また、同箇所を除いて先行して整備中である電線共同溝本体工事などが本年度末に完了することから、来年度早期に道路改築工事に着手し、平成19年度末までの全線整備完成を目指す。					
施設の構造や工法の変更等	特になし					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上を勘案すれば、当初からの必要性、重要性は変わらないものとする。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。